

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 久末教室 保護者等数(児童数) 22 回収数 割合 44 9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	2	0	1	広い範囲でのびのび活動ができています。広いです。2階建てで十分に広いスペースがある。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	0	0	2	人が多いです。専門性があり特性を活かした対応をいただいている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20	0	0	2	色分けされたお部屋や集団が苦手な子ども個別のお部屋があったりと配慮されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	2	0	2		
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	22	0	0	0	希望の支援計画を作成頂いています。詳しく作成してもらっています。とても細かく分析して頂いて勉強になります。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	0	0	2	個人、集団プログラム共に分かりやすく具体的に設定して頂いていると感じます。考え工夫してもらっています。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22	0	0	0	リズムで活動内容を見させていただけと計画に沿ってご支援いただいていると感じます。計画に沿った支援で計画通り達成する項目が多い。	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	0	0	2	好きな「数字」「アルファベット」を取り入れつつ毎回様々な活動を行ってくださっていると思います。毎月毎週様々なプログラムを提供して頂いています。毎回違うプログラムで飽きないよう工夫して頂いている。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	4	1	13	実際に交流があるのかも少し心配ですが存じ上げない為この評価にさせていただきました。わからない、こちらとしては特にそういう希望は無いので、無くて問題ありません。	児童発達支援の他事業所との交流は、お隣にある高齢者施設と関わっています。コロナ後は、玄関前でハローウィンのお菓子を頂いたりしています。放課後等デイサービスでは、他校でのフリーマーケット等で交流を行っています。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	0	0	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	19	2	0	1	「発達支援計画」については契約後に作成頂いたもので示していただきながらの説明は無かったと思いますが内容はしっかり理解しております。	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	15	2	2	3	実際に行われているのかもしれないのですが、不明な為この評価にさせていただきました。質問には答えてもらっています。私は何をトレーニングされるのでしょうか?	教室外のご両親のための研修情報をお知らせしております。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	2	0	0	送迎いただく際に状況を伝えてくださるのでとてもありがたいです。日頃の活動状況は分かるが発達状況や課題はまだ分からない。定期的に責任者の方と密な面談ができていますが、それが日々の密な課題の選択に生かされていない気がする。担当した先生に課題の選択はゆだねている?おおむね満足だが個別の課題がずっと変わらない印象とその人によって(能力の差なのか)差がある。	職員の技術と知識向上のための研修を行っています。お子様が様々な職員との個性や専門性に触れられるように、担任制を導入していません。
保護者への 説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	1	0	1	定期的な面談を行っています。行われています。困り事が増えた時等いつも相談に乗ってもらいとても助かっています。定期的に十分に時間をとって頂いて丁寧に面談をさせていただきます。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	5	1	6	定期的開催して頂いています。模索して下さっている様子がありがたいです。障害の種類や重さが違う中でどれくらい交流できるのかは難しいところもあると思います。連携したことは無いと思います。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21	0	0	1	相談したことにすぐ対応頂けた。日頃の変更等いつも柔軟に対応してくださりがとうございます。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	1	0	0	とてもしてもらっています。毎回連絡帳やアプリですぐに連絡が取れ、ご相談できる。	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	22	0	0	0	サークルスクエアにて定期的に発行して下さっているのが助かります。定期的にサークルスクエア アプリで確認しています。アプリで情報発信やお知らせを頂いて分かりやすいです。	個人情報に留意しながら、活動報告やお知らせ等、必要な情報をお届けできるようにさらに努力いたします。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	20	1	0	1		
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	0	0	5	実際に行われているのかもしれないのですが、不明な為この評価にさせていただきました。してします。	緊急マニュアルはサークルスクエアの掲示板に掲載しておりますが、周知が行き届いていないことが和理ました。すぐに対応いたします。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	0	0	3	実際に行われているのかもしれないのですが、不明な為この評価にさせていただきました。	避難訓練は不定期ですが、年に4~5回行っています。活動報告が行き届いていないため、事後の報告をより詳細に行います。
満	22	子どもは通所を楽しみにしているか	22	0	0	0	まだ言葉では伝えてきませんが「こぼん行くよ!と声を掛けるとリュックを準備して、積極的に行くとうしますし、帰りの車から降りて来ないので楽しいのだと車から楽しんでいます。とても楽しんでます。いつもこぼんの日には朝から楽しみにしています。保育園等である行き流りも全く無いです。毎日楽	

足 度	23	事業所の支援に満足しているか					通所してから身体をよく動かすようになりまして遊びの幅も増えて本当に成長したなど感じています。とても満足していますし、ご支援に感謝しております。子供の成長が感じられ、日々の療育のおかげです。満足しております。いつもありがとうございます。大満足です。製作やお買い物ごっこ等いろいろな体験もさせてもらい感謝しています。大変満足していま	
			22	0	0	0		
			425	22	4	45	86%	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 久末教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○	△わからない		月例会議を毎月行っていて、社員全員が集まっ
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○	△わからない		以前はSVさんの定期的な訪問があり、第3者の方のご指摘が頂けていた。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			各種発達検査、言語、構音、視機能、LDの検査を行っている。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼と終礼の一日に2回行っている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
関係機関や保護者との連携	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者、管理者が参加している。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			医療的ケア時は受け入れていないが、服薬情報等は頂き、職員間で共有している。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			依頼があった場合は対応している。	

携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			児童発達支援では積極的に行っていない。放課後等サービスでは交流を行う。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			一人ひとりの保護者様とゆっくりお話しする機会が少ない。自由にお話しする場をもっと設けていきたい。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	△			教室内での保護者様向けの研修の開催が難しいため、研修情報を提供している。面談時に書籍のご紹介をしたり、心理士による保護者様の相談を受け付けている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			コロナ後に集まる機会がなくなり、新たな機会を企画したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情に関しては、管理者が対応している。教室の改善が必要な場合は、迅速に行うように心がけている。
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			昨年から、個人情報に留意して様々な情報発信ができるようにしている。テスト運用で課題があるため、改善しながら進めていきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			個人情報の取り扱いについて、職員間で共有しているが、十分とは言えない。外部の研修などを取り入れる必要がある。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			外国籍の保護者様には、英語や一部母国語で伝える努力をしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	△			教室内に外部の人が来ることを嫌う保護者の方もいるため、控えている。SPO-CLUBでは、外部交流を行える可能性がある。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			作成して掲示しているが周知に課題がある。保護者皆さまに周知していき、機会があれば別の形で伝えていきたい。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年に4～5回行っている。訓練だけでなく、防災調理等付随した活動を多く取り入れている。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○				
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			毎日記載の上、月例会議で共有している。必要な対策は迅速に行うようにしている。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			行っているが十分でない。全職員が研修に参加できるように徹底したい。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			契約時に説明している。	